

史料 マルクス、エンゲルス『共産党宣言』（1848年）

共産主義者は、その理論を、私有財産の廃止^{はいし}という一つの言葉に要約^{かくとく}することができる。個人的に獲得^{かくとく}した財産、みずから働いて得た財産を、……共産主義者は廃棄^{はいき}しようとする、という非難がわれわれに対してなされている。……ところで、賃金^{ちんぎん}労働、プロレタリアの労働は、プロレタリアに財産をあたえるだろうか？ 決してあたえはしない。賃金労働は資本という財産を作り出す。それは賃金労働を搾取^{さくしゅ}するものであり、そしてまたそれは、あたらしい賃金労働を生産してそれをふたたび搾取するという条件がなくては、みずからふえることのない財産である。

『共産党宣言』大内兵衛他訳，平凡社，1951年